

6次産業化の検討に向けたチェックリスト

情報経営部 情報チーム TEL:022-383-8120

研究の目的

6次産業化は全国的にも積極的な推進がなされており、本県でも様々な支援を実施し優良事例も増えているものの、「総合化事業計画」認定事業者数の伸びは鈍化しています。このため、6次産業化を検討する事業者ツールとして、「6次産業化の検討に向けたチェックリスト」を作成しました。

研究成果

「6次産業化の検討に向けたチェックリスト」(以下「チェックリスト」という。)は3シートからなり、シート1はチェックリスト、シート2はチェック結果のレーダーチャート、シート3は項目に対する事業者の取組例を記載しています。このチェックリストを用いて自己の経営の特徴や課題を明らかにし、今後必要な取組の検討に活用できます。

事業者名	記入者	チェックシート実施日
	氏名:	

6次産業化の検討に向けたチェックリスト

本チェックリストを活用し、6次産業化の検討に向けた、「実地」の一助にいただければ幸いです。
 ※回答時間は、15分程度です。
 本チェックリストは0から2までの3段階方式となります。
 回答欄の0、1、2のいずれかひとつに○を付けてください。
 なお、ご回答にあたっての数字の目安については、下記のとおりです。

- 0: 着手できていない、考えていない
- 1: 考えているが、実行できていない
- 2: 既に着手している、既にできている



1. 経営戦略・事業計画の明確化	回答欄
6次産業化の定義や政策などを把握している	
代表者が経営理念や経営方針を明確に打ち出し、組織内でも共有されている	
事業の目的や目標が明確化されており、事業戦略や事業計画を策定している	
自社の経営資源を分析し、強みと弱み、機会と脅威を認識している	
事業計画に基づき、現在の進捗を把握し、事業に取り組んでいる	
事業計画策定には、従業員や外部専門家等の意見を取り入れている	
2. 生産物の品質・収量の確保	回答欄
生産物の収量は十分かつ安定的な確保が可能である	
生産物の品質向上に努めている	
生産物の収穫時期に幅がある、あるいは収穫後の保存(常温、冷凍)が可能である	
規格外品の有効利用が可能である	
生産物自体に商品力(ブランドや良食味、特徴等)がある	
自然災害や販売リスクなどを考慮している	
3. 商品開発・商品力の向上	回答欄
商品の基本企画やコンセプトが明確にされている	
対象となる顧客層や、売り場・売り先を設定している	
類似の商品を調査するなど、市場の調査をしている	
販売先や消費者のニーズを把握し、その声を商品開発に取り入れている	
他商品との差別化が図られており、特徴が明確化されている	
商品の原価を把握している	
4. 商品づくり(出荷・加工)の体制	回答欄
商品の出荷・加工製造に十分なノウハウ(知識や技術など)を保有している	
商品の出荷・加工製造に必要な設備、または製造委託先等を確保している	
マニュアル化が図られており、効率的な出荷・加工製造の運用がされている	
商品づくりに必要な、各種営業許可等の取得をしている	
衛生管理が従業員にまで適切に行われている	
生産物賠償責任保険(PL保険)等、リスクに対する対応策を整えている	

図1 シート1 チェックリスト (抜粋)

貴社の6次産業化の取り組み状況(概括)									
項目	1 経営戦略・事業計画	2 生産物の品質・収量	3 商品開発・商品力の向上	4 商品づくりの体制	5-1 販売先	5-2 販売先	6 経営管理の体制	7 人材確保	8 経営環境への対応
貴社	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者平均	10	10	9	9	10	9	9	9	9

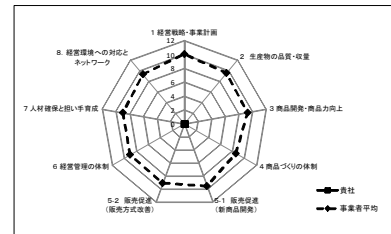


図2 シート2 (レーダーチャート)

表1 シート3 事業者の取組例(抜粋)

チェックリスト項目	項目に対する事業者の取組例
1. 経営戦略・事業計画の明確化	<ul style="list-style-type: none"> A. 基本方針: 企業理念、経営理念は書面化(長期ビジョン、中期経営計画)し、従業員全員に周知。 B. 経営理念や経営方針の共有: 経営理念や経営方針を明確に打ち出し、組織内でも共有されている。 C. 事業戦略や事業計画の策定: 自社の経営資源を分析し、強みと弱み、機会と脅威を認識している。事業計画に基づき、現在の進捗を把握し、事業に取り組んでいる。
2. 生産物の品質・収量の確保	<ul style="list-style-type: none"> A. 原料となる生産物の品質・収量の確保: 生産物の収量は十分かつ安定的な確保が可能である。生産物の品質向上に努めている。 B. 生産物自体の商品力(ブランドや良食味、特徴等)がある: 規格外品の有効利用が可能である。 C. 生産物賠償責任保険(PL保険)等、リスクに対する対応策を整えている: 自然災害や販売リスクなどを考慮している。

利活用の留意点等

チェックリストは、事業者自身あるいは農業改良普及指導員等の支援者と確認しながら記入します。

事業者の経営の特徴や6次産業化導入の目標等により、各項目の重要度や優先度は異なるため、必ずしも全項目が「既に着手している」「既に出来ている」となることを目標とするものではありません。

チェックリストは表計算ソフトExcelで作成されており、利用したい方は当所情報経営部までお問い合わせください。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第94号(平成31年4月発行)

「6次産業化の検討に向けたチェックリスト」をご覧ください。

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html



宮城県農業三場所